

# 病理画像参照 Viewer の活用事例のご紹介

株式会社ファインデックス 涌嶋 賢二

弊社は、研究プロジェクトや病院業務の中で病理画像参照 Viewer と組み合わせた多くのシステムをご提供させていただきました。

AI 開発の為にデータ収集、カンファレンスでの参照、教育用ツールなど、WSI フォーマットの病理画像のニーズと活用範囲は広がる一方で、病理の IT 化を進める上で画像参照 Viewer は関係者にとって重要なツールとなってきたと感じています。

今回は、弊社のブラウザで利用できる病理画像参照 Viewer の活用事例 2 つをご紹介します。

1 つ目は、大学の講義で利用可能なティーチングファイルシステムの機能として、大学講義の最中や、学生の自主学習中のツールとして、PC からだけでなくタブレットからも利用できるデジタル支援ツールとして活用いただいた事例となります。

2 つ目は、院内の電子カルテ端末で WSI 病理画像を参照できるようにし、検査管理システム (L I S) と連携して Viewer を起動連携したり、カンファレンス等で利用できるようにした事例となります。

業務だけでなく、研究や教育など様々なシーンでの活用についてご提案させていただきます。